

狼と七匹の子ヤギ

KHM 5 Der Wolf und die sieben jungen Geißlein

母ヤギが留守の間、七匹の子ヤギのところに狼がやって来ました。するがしこい狼は、母ヤギの声をまねし、おまけに自分の手を白く塗ったので、子ヤギたちは

母ヤギだと思ってドアを開けてしまいます。子ヤギたちは、次々と狼に食べられてしましましたが、柱時計の中に隠れた一番下の子ヤギだけが助かりました。母ヤギが帰ってきて、一番下の子ヤギから話を聞き、狼を探しに行きました。満腹で寝ている狼を見つけると、母ヤギは狼の腹を切って子ヤギたちを助けました。それから、狼のお腹に小石を詰め込んだので、目を覚まして水を飲もうとした狼は井戸に落ちて死んでしまいました。

